



Toyokawa BlueBerryHills

Crispy
Berry



国産[生]
東京農工大学監修

目次

1. Crispy Berryの商品概要
2. Crispy Berryのお取り扱いについて
3. 取り扱い事例
4. 当社プロフィール
5. FAQ

01

Crispy Berryの商品概要

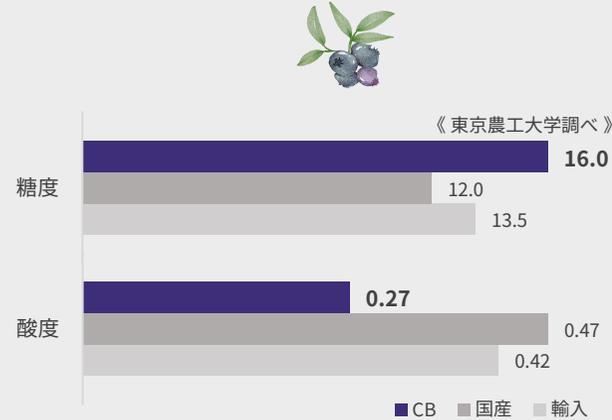
Crispy Berry特徴や生産現場のご紹介

Crispy Berryの特長



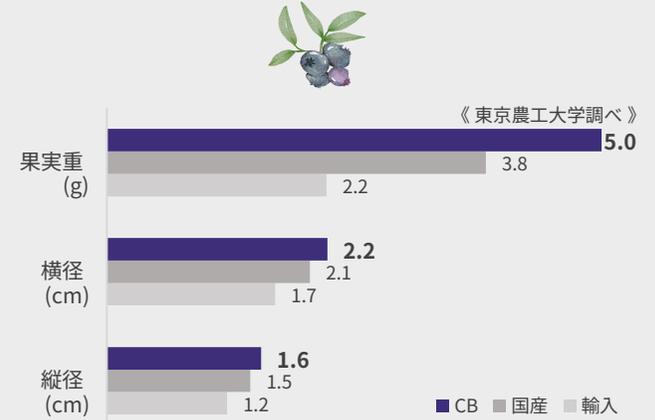
Crispy

Crispy Berryの旬は冬です。「生」であることにこだわり、皮のはじける美味しさを追求しました。クリスピー感を楽しんでいただけますように。



Balanced

適切な温度管理で、高い糖度のブルーベリーを生産。糖度と酸度の絶妙なバランスを実現したブルーベリーをご提供しております。一般的なものと比較すると平均2.5~4.0度高い糖度です。



Big size

Crispy Berryは糖酸度だけではなく、大きさもピカイチ。大粒になると500円玉サイズよりも大きく生育しますが、決して大味にならず甘くてジューシーなブルーベリーです。

生産現場



《ブルーベリーハウス外観》



《ブルーベリーハウス内観》



《徹底した生産管理で大きく実ったブルーベリー》



《ひと粒ひと粒丁寧に育成し、収穫しています》

02

お取り扱いについて

Crispy Berryのアピールポイント

🍇 お取り扱いポイント

1 | 希少性の高い商品を取り扱える

冬に旬を迎え、生のブルーベリーをご提供できるのはCrispy Berryだけです。

品揃えとして他社と差別化できるポイントです。

1年を通じて高品質なブルーベリーをご提供いたします。

2 | 安全安心の国産

東京農工大学監修のもと、最先端の技術を駆使して低農薬で栽培をしております。

徹底した管理で糖度の高いブルーベリーの栽培を実現しました。

輸入冷凍モノが増える中、安全安心の国産です。

3 | SDGsに参加できる



産学連携で緻密な管理手法と生産体制を確立。



今後、営農型太陽光発電電力を自家消費。

03

取り扱い事例

Crispy Berryを

お取り扱いいただいている事例をご紹介します

お取り扱い事例



《ジェイアール名古屋高島屋様（愛三岐フェア／お歳暮）》



《伊勢丹新宿店様（サロンドアグリジャポン／お歳暮）》



《あべのハルカス近鉄本店様（常設）》



《豊川市様ふるさと納税様（さとふる）》

04

当社プロフィール

アグリガスコム株式会社のご紹介

会社プロフィール

会社名 アグリガスコム株式会社

住所 愛知県豊橋市神野新田町字二ノ割4-1

代表者 代表取締役 西山 暢一

資本金 5,000万円

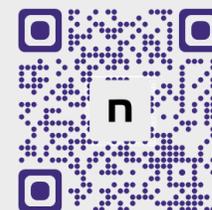
設立 2018年6月

事業内容 農産物の生産・販売
農産物の加工品の製造・販売
ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の運営・電力の販売

agrigascom



Toyokawa BlueBerryHills



メディア掲載実績（一部抜粋）

《2021年12月『中日新聞』》

通年ブルーベリー 初出荷

L.P.ガス製造販売の日本ガスコム（豊橋市）が東京農工大との共同研究で、一年中摘み取れる国産のブルーベリーを開発し、初出荷を迎えた。豊川市内の工場ですら光と温度などを徹底管理した状態で栽培し、冬でも新鮮な国産のブルーベリーを味わえる。日本ガスコム取締役の西山暢一さん（45）は「他の果物との競合もある中、もっとブルーベリーを生活に浸透させたい」と話した。（牧原広幸）

①ブルーベリーを通年栽培する西山さん。②成熱度の違う葉や花が散る枝。いずれも豊川市上長山町で

国産ブルーベリーの出荷は八月からで、その後の時期はキンコ産などの輸入品が中心だが、十月中旬には輸入品と同等の品質の国産ブルーベリーが市場に出る。西山暢一さん（45）は「他の果物との競合もある中、もっとブルーベリーを生活に浸透させたい」と話した。

日本ガスコム豊橋支社を通じて、一〇一九年に農業分野へ新規参入

豊橋の日本ガスコム共同開発「生活にもっと浸透させたい」

「生活にもっと浸透させたい」

L.P.プロダクトなどの栽培。今年四月に豊川市で約六千平方メートルの工場「豊川ブルーベリー」を開設し、通年栽培を始めた。研究の活用化を目指す東京農工大の研究チームが主力となり、日本ガスコムが資金提供や販売網の構築を担った。

西山暢一さん（45）は「他の果物との競合もある中、もっとブルーベリーを生活に浸透させたい」と話した。

《2022年1月『日本農業新聞』》

ブルーベリー 通年収穫 植物工場で季節「早回し」

収穫量は通常の4.5倍に

東京農工大

東京農工大は、ブルーベリーを一年を通じて収穫可能な植物工場を開発し、今年初めに約六千平方メートルの工場「豊川ブルーベリー」を開設し、通年栽培を始めた。研究の活用化を目指す東京農工大の研究チームが主力となり、日本ガスコムが資金提供や販売網の構築を担った。

西山暢一さん（45）は「他の果物との競合もある中、もっとブルーベリーを生活に浸透させたい」と話した。

《2022年1月『日本経済新聞』》

植物工場でブルーベリー生産 日本ガスコムと東京農工大

日経産業新聞 +フォローする

2022年1月27日 2:00 [有料会員限定]

保存

日本ガスコム（愛知県豊橋市）は東京農工大学と協力し、植物工場でブルーベリーの果実を収穫して初の出荷にこぎ着けた。農作物を植物工場で作る手法は普及してきたが、レタスなど葉物の野菜が中心で、果実は難しかった。夏が収穫期で冬季は輸入に頼っていたブルーベリーの生産拡大を目指す。今後は植物工場で栽培できる果物や野菜の種類も増える可能性がある。

他に先駆けてブルーベリーの植物工場を造った=日本ガスコム提供

《2021年12月『テックランチ』》

2021年12月6日

東京農工大学が日本で初めて果樹工場から冬季生産のブルーベリーを出荷、伊勢丹新宿店で発売

by tetsuokanai

東京農工大学は、日本ガスコムの植物工場を使ったブルーベリーの通年生産システムで、これまで不可能とされていた冬季生産のブルーベリー果実の出荷を成功させた。2021年12月から伊勢丹新宿店で発売される。 [続きを読む](#)

0 いいね! 17 ツイート 0 ブックマーク 0 Pocket 1

《その他掲載実績》

- ・2021年12月 『プロパン・ブタンニュース』
- ・2021年12月 『燃料油脂新聞』
- ・2022年01月 『日経産業新聞』 など

05

FAQ

よくあるご質問

よくあるご質問

Q 取引にあたり契約は必要でしょうか？

A 『取引基本契約』の締結は原則不要ですが、ご要望に応じて各種契約の締結は可能です。

Q サンプルを送ってもらうことはできますか？

A 可能でございます。詳細は担当者までご連絡ください。

Q 発注してから最短でどのくらいで納品できますか？

A エリアにもよりますが、最短5営業日程度で納品させていただきます。

Q 農場の見学は可能ですか？

A もちろん承っております。日時の相談をさせていただきます。

Q POP等の販促物を提供してもらえますか？

A ご活用いただける販促ツールを提供させていただきます。

Q 発注の最低ロットはありますか？

A 最低ロットの制限はございませんが、1回10pc以上ご発注いただくお客様が多くなっております。

Q 返品・交換はできますか？

A 万が一、弊社の責めに帰すべき事情でしたら、無償で新しいものと交換させていただきます。

Q 配送業者はどちらですか？

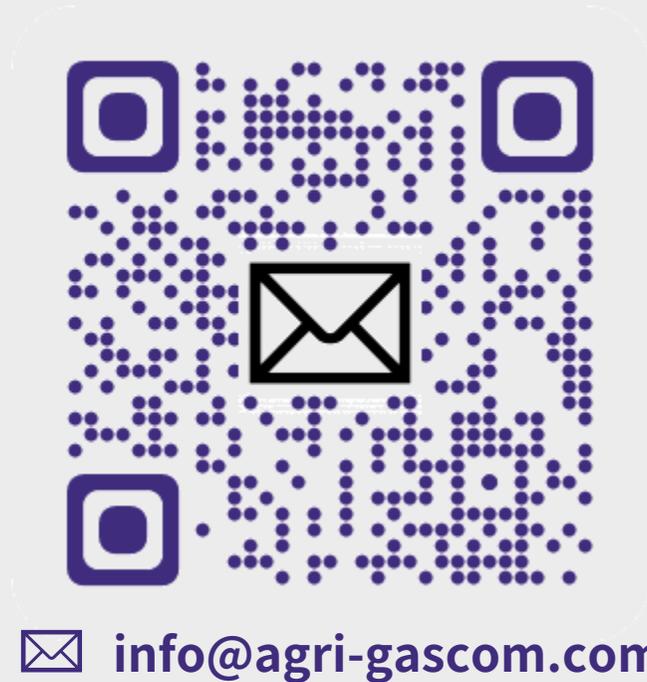
A 品質保持のため、ヤマトのクール宅急便（0～10℃）にて発送いたします。

Q 商品の品種を教えてくださいませんか？

A 品種名は企業秘密とさせていただきます。様々な品種をミックスしたパッケージで異なる品種を2～3粒同時に召し上がった風味の違いをお楽しみいただけます。

よくあるご質問

その他、ご質問やご不明点等ございましたら、
下記QRコードよりお問い合わせいただけましたら幸いです。



✉ info@agri-gascom.com